積善

題字　第241世天台座主　玄深師(恵亮院蔵)

編集・発行　上寺山餘慶寺
〒701－4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島1187
納経所　TEL　086－942－0186　FAX 086－942－0187
恵亮院　TEL/FAX 086－942－3788
本乗院　TEL　086－942－2791　FAX 086－239－5823
吉祥院　TEL/FAX 086－942－3789
定光院　TEL　086－942－2356　FAX 086－944－1490
明王院　TEL　086－943－1030　FAX 086－943－1069
圓乗院　TEL　086－942－2356
ホームページアドレス　http://www.yokeiji.com/

桜まつり　～裸一貫スズメバチ～

春の日ざしが桜のつぼみを開かせる頃、里山の強者、スズメバチはようやく冬眠から目覚め、活動を開始します。この時期のスズメバチ（女王蜂）は攻撃性も身をひそめ、巣作りと産卵のため、裸一貫で働いています。ハチも自然界の仲間として見たとき、ゼロから仕事を始める健気な姿に、エールを送りたくなるのです。

餘慶寺の桜まつりでは期間中、本堂外陣の花御堂へ生まれて間もない釈迦誕生仏を据え、ご参拝の皆様に甘茶を潅いでいただけるようご用意しています。皆様には同じ時代を生きる者同士として、仏さまからのエールを受けて元気を蓄え、そしてハチのように心機一転たくましく、桜や野の花々と同じように、華やいでほしいと願っております。

春の上寺山へ、是非ともお詣りください。

餘慶寺　春の行事

涅槃会（本堂）
三月十五日（火）　十六時～
お釈迦様のご命日は二月十五日ですが、餘慶寺では月遅れでお勤めします。本堂に涅槃図を掛けて法要をします。

彼岸会（本堂）
三月二十日（日・祝）十時～
檀家各位並びに餘慶寺縁者各位のご尊霊様のご供養をいたします。法要のお申し込みは、各院または納経所でうかがいます。

降誕会（本堂）
四月八日（金）　八時～
お釈迦様の誕生日で、「灌仏会」ともいいます。本堂の正面に用意された花御堂にお釈迦様の生まれたときのお姿である誕生仏を祀り、甘茶をかけてお祝いします。
※十時から十六時まで甘茶の無料接待があります。

桜まつり（本堂・薬師堂）
四月一日（金）～八日（金）
本　堂　潅仏(甘茶のお供え)
薬師堂　護摩供
一日～七日　十一時
八日のみ　十時
護摩供が終わり次第、薬師如来様も特別拝観できますので、ぜひお詣りください。（十四時まで。八日のみ十五時まで）
添え護摩木とご祈祷のお申し込みは、納経所または薬師堂でうかがいます。
期間中、「さくらカフェ」も会館前で開店します。お詣りの後は、一息入れながらお花見にご活用ください。※桜の開花状況によっては三月末頃より開店予定です。

各院からのお知らせ

恵亮院より
毘沙門天王縁日護摩祈祷（於　恵亮院毘沙門堂）
毎月三日　午前十時～
※六月三日は都合によりお休みします。

本乗院より
写経会（於　本乗院客殿）
毎月第三日曜日
十一月～三月　午前七時～
四月～十月　午前六時～

定光院より
大聖歓喜天縁日（於　定光院）
毎月十五日　早朝より
※病気平癒等のご祈祷は随時受付しています。

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日（於　薬師堂）
毎月八日　午前十時～
（八月はありません。）
護摩供養をしています。
ご祈祷のお申し込みは納経所へお願いします。
観音縁日（於　本堂）
毎月十八日　午前八時～
みんなで観音経をあげます。
お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

期間限定の「さくらカフェ」はお菓子とお飲み物のセットで四百円です。

お彼岸法要のお申し込みは三月十日（木）までに各院または納経所へどうぞ。

春の餘慶寺お彼岸法要

お彼岸は真西に太陽が沈むことから、極楽浄土に思いをはせる日、ご先祖様の供養をする日として、古来より大切にされてきました。

併せてこの日は、現代に生きる私たちにとって、神仏への感謝、天地への感謝、ご先祖様への感謝、両親への感謝、家族、先生、友人、ペット、・・・すべての生きとし生けるものへの感謝の気持ちを思い起こし、いかされる有り難さを実感させる、縁起の良い日でもあります。

報恩謝徳（恩に報い徳に感謝する）の春のお彼岸法要が餘慶寺本堂において三月二十日（日・祝）の十時より行われます。お誘い合わせの上お詣りください。

上寺山両詣りご報告

第十六回目を迎えた上寺山両詣りが年末年始実施されました。今回は天候にも恵まれ、たくさんの善男善女の方がお詣りに訪れ、賑やかな雰囲気の中行うことができました。

本堂や薬師堂など諸堂へのご参拝、楊潅頂のお清めや護摩祈祷など、お詣りくださった皆様にとって良い初詣であったと確信しおります。

末筆ではございますが、両詣り開催に御尽力くださいました全ての方々に心より厚くお礼申し上げます。

ひとくち法話

「つながり」

先日、携帯電話を新しく変えようとお店に行った時、ある子どもが目に入りました。どうやら家族で来ているようですが、その子だけは一人離れた所で携帯ゲームを黙々としています。結局、その子は帰る時までずっとゲームをして過ごしていました。

このような光景、最近では決して珍しくありません。大型ショッピングモールや観光地、テーマパークなどあらゆる所で見かけられます。最近の携帯ゲームは通信機能があり、遠く離れた様々な人と簡単に「つながる」ことができるそうです。まさしく技術の進歩であり、間違いなく便利な道具と言えるでしょう。

しかし、その便利な道具を上手く利用できているでしょうか。利用しているようで実は道具に支配されてはいないでしょうか。画面の中の「空想のつながり」に必死になっていないでしょうか。これは子どもだけに限らず大人にも言えるのではないかと思います。

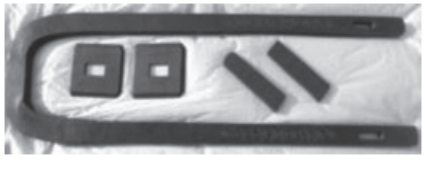
様々な人とつながることはとても良いことです。ただ、画面を通してだけでなく、目と目を合わせ言葉を伝え合って「つながる」ことの大切さを今一度考えてみたいものです。まずは家族と他愛もない話をすることから始めてみても良いかもしれませんね。

上寺の鐘　～帰山のご報告～

昨年十二月十六日、県指定重要文化財の梵鐘が九州国立博物館から無事帰山し、鐘楼（市指定重要文化財）に運び戻されました。当日は多くの文化財関係者や檀信徒の方々が作業を見守り、設置し直されるのをお見届けくださいました。

なお、梵鐘を吊す金具は、前号でお知らせしました通り調査の結果亀裂があることが判明したため、備前長船刀剣博物館の安藤広康刀匠により新調されました。なお、新調された吊金具には安藤氏の銘が刻み込まれております。加えて、装剣金工師の木下宗風師により同吊金具に黒錆が施され、より耐久性の高い物に仕上げていただくことができました。

檀信徒の皆様におかれましては、約一年間の長旅にご理解いただき有難うございました。紙面を借りましてお礼とご報告を申し上げます。



薬師護摩祈祷　護摩木三百円　木札授与三千円／五千円

毎月第二日曜日　午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

十三仏について～虚空蔵菩薩～

虚空蔵菩薩（三十三回忌）

三十三回忌の仏さまは虚空蔵菩薩さまです。あまり知られていない仏さまですが、十三仏の最後の仏さまであり、密教においても胎蔵界と金剛界、それぞれの世界で重要な位置にお祀りされています。

そのお姿は左手に福徳を表す如意宝珠を持ち、右手には智慧を表す宝剣を持っておられるものが多いようです。

「虚空」とは大きな空間のこと、「蔵」とは入れ物のことです。大空のような大きな入れ物に福徳と智慧が無限におさめられていて、人々の願いをかなえるために自在に取り出して救済をするといわれています。

十三参りというのをご存じでしょうか？数えで十三歳の時に虚空蔵菩薩さまをお参りに行き、福徳や智慧をいただくお参りです。

また虚空蔵さまの最も得意とされるのは、私たちの記憶力を高めてくださることです。亡くなられた方の供養のためだけでなく、智慧を授かりにぜひお参りしましょう。

よけいじ寺子屋だより

会場　餘慶寺会館（十四時～）

寺子屋写真館

今後の予定

☆『分かりやすい仏教講座～十王信仰～』三月十二日（土）
講師　定光院・円乗院住職　西野祐誠師

☆『日本刀の作り方』　三月二十一日（月・祝）
講師　備前刀剣博物館　刀鍛冶　安藤広康様

☆『日本刀に用いられる意匠（デザイン）について』　四月十七日（日）
講師　備前刀剣博物館　装剣金工師　木下宗風様

☆『天台宗の有名寺院』　四月二十四日（日）
講師　本乗院住職　小林周伸師

☆『天台宗のお坊さん』　五月二十九日（日）
講師　明王院法嗣　岡本昌幸師

※老若男女どなたでも聴講可能です。（無料）
皆様お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

編集後記

上寺の梵鐘が昨年末に帰山し、二ヶ月が経ちました。帰山してすぐは鐘の音が響くと懐かしく感じましたが、ようやく当たり前に戻ってきました。当たり前の尊さを大切に思いながら今年も精進していきたいものです。